

《どうでもいい話、その 625》

どうでもよくない皆様へ

すっきり晴れて穏やかな元旦です。明けましておめでとうござい
ます。年末はボランティアが多くあり、それもクリスマスシーズン
で、小学校の音楽の授業、児童館のクリスマス会などで、子供たちと
一緒にクリスマスソングを歌う機会が多くありました。ジングルベル、
きよしこの夜、とともに歌われたのが「赤鼻のトナカイ」で、歌
詞は「真っ赤なお鼻のトナカイさんは いつもみんなの笑いもの で
もその年のクリスマスの日 サンタのおじさんは言いました 暗い夜
道はピカピカのおまえの鼻が役に立つのさ いつも泣いてたトナカ
イさんは 今宵こそはと喜びました」です。みんな楽しんで歌ってい
ますが、歌詞をよく見ると、可哀そうにこのトナカイは鼻が赤いの
で、いつもみんなから笑われて泣いています。そして、そんなトナカ
イをサンタは、懐中電灯代わりに使います。この曲は、身体障害者に
対する差別、イジメ、パワハラとモラハラの「クルシメマスソング」
です。 なーんて、今年もどうぞよろしくお願い致します。

岩波より